



福岡県医発第433号(総)

平成18年 5月26日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義 武



平成18年度「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」の
候補者推薦について(お願い)

標記につきまして、別紙のとおり日本医師会長より推薦方依頼がありました。
推薦基準をご参照の上、該当される個人(団体)がありましたら来る6月6日
(火)までに本会宛ご推薦下さいますようお願い申し上げます。

また、該当のない場合もその旨ご報告下さいますよう、重ねてお願い申し上げます。

日本対がん協会賞・朝日がん大賞

推薦の手引き

財団法人 日本対がん協会

◇ 日本対がん協会賞

【趣旨】

対がん活動に顕著な功績のあった個人及び団体を顕彰して、がん征圧運動の一層の高揚を図ることを目的とする。

対がん活動とは、広くがん征圧のための運動、事業、研究を指すが、とくに「予防活動」の第一線で顕著な功績を上げた個人（団体）や、多年にわたって地道な活動を続けた個人（団体）に光をあてたい。

【推薦基準】

- ①「多年」とは、おおむね10年以上をいう。
- ②適正ながん知識の普及や啓発に対する功績。
- ③精度の高い各種がん検診の普及や推進に対する功績。
- ④奉仕活動や募金活動に対する功績。
- ⑤がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発での功績。
- ⑥現職の協会関係者は、原則として対象としない。

◇ 朝日がん大賞

【趣旨】

日本対がん協会賞の特別賞として、21世紀（平成13年）から新設した。

対象分野は「がん予防」全般とするが、活動期間は問わず、将来性のある人材や研究の発掘、医療機器類の研究・開発、患者・治癒者の活動やケアなどの分野も視界に入れて支援・育成して行くことを目的とする。

副賞（100万円）が有効に使われるよう、「若手」「将来性」「育成」「支援」などをキーワードに選考する。

【推薦基準】

- ①活動期間は問わない。
- ②将来期待できるがんの予防法や研究を手掛けている個人および団体。
- ③検診法や検診機器で画期的な開発をしたり、挑戦している個人や団体。
- ④患者・治癒者の活動などでがん予防運動に顕著な貢献をしたり、育成したい個人や団体。
- ⑤現職の協会関係者は、原則として対象としない。

◇選考と表彰

- ①選考は、両賞とも「日本対がん協会賞選考委員会」で行なう。
- ②ともに年度賞とし、日本対がん協会賞は個人、団体各数件、朝日がん大賞は1件とする。
- ③表彰は、両賞とも毎年9月の「がん征圧全国大会」で行なう。
- ④日本対がん協会賞には、正賞（レリーフ）と副賞（記念品）
朝日がん大賞には、正賞（レリーフ）と副賞（100万円）を贈る。
- ⑤選考委員会の事務局は、日本対がん協会に置く。

＝2001（平成13）年4月決定

2006年度（平成18年度） 日本対がん協会 朝日がん大賞 推薦書

推薦団体または推薦者	担当者（問い合わせ先=E-mailも）
------------	---------------------

候補の所属部門（または団体・グループ名）	
肩書き・氏名（グループ構成メンバー）・ふりがな	年齢（ことし9月1日現在）、生年月日
住所・連絡先など（グループ代表者名も） 〒	電 話、E-mail
推薦理由	
推薦理由の元になる研究や実績	
主な経歴（団体の場合は実績など）	受賞歴（年月・名称・受賞理由など）

2006年度(平成18年度) 日本対がん協会賞〈個人の部〉推薦書

推薦団体または推薦者	担当者(問い合わせ先=E-mailも)
------------	---------------------

候補の氏名・ふりがな	男 女	年 齢 (9月1日現在)	生年月日	がん関係への従事歴
職 業(勤務先および役職など)				年 月 年 ヶ月
現住所 〒			電 話、E-mail	
推薦理由				
推薦理由のもとになる活動・実績				
主な経歴(大学・医専などの卒業以降)			受賞歴 (年月・名称・受賞理由など)	

2006年度(平成18年度)日本対がん協会賞 《団体の部》 推薦書

推薦団体または推薦者

担当者(問い合わせ先=E-mailも)

候補の団体名・ふりがな		代表者(役職名と氏名・ふりがな)	
主たる事務所所在地 〒		電話、E-mail	
代表者または事務局担当者への連絡先・電話など			
組織・会員・メンバー構成などの概略(例: 県内〇分会、医師〇人、保健師〇人など)			がん征圧活動歴 年 月 日から 年 月
推薦理由			
推薦理由のもとになる活動・実績			
活動の歴史(経年的に)		受賞歴(年月・名称・受賞理由など)	